

# 日中友好新聞

## 府連通信

2015年9月号  
 日本中国友好協会大阪府連  
 〒530-0012 大阪市北区  
 芝田2-3-19 東洋ビル本館207  
 TEL06-6372-8131  
 050-3413-6491  
 FAX06-6372-8132  
 郵便振替口座  
 00970-5-8978  
**新しいアドレス**  
 E-mail: info@jcfasaka.org  
 ホームページ  
 http://jcfasaka.org/

### 中国語講座十月開講 無料レッスン開催

#### あなたも中国語を始めませんか

会員の皆さん、大阪府連の中国語教室が今、たいへんです。受講生の減少に歯止めがかかりません。反日デモや尖閣問題、不況による経済的な厳しさ、等々、理由はいろいろも考えられますが、厳しい現実が続いています。中国語検定会場での宣伝、ダイコクドラッグ前でのビラまき、休講中の受講生への案内など様々な努力はしていますが、減少傾向をストップできていません。

大阪府連にとって、中国語講座の収入は大きな比重を占めています。大阪府連の豊かな友好活動を支える大きな経済的土台です。中国語講座の受講料は大阪府連の大きな財政的支えになります。日中友好運動を前進させています。あなたが中国語講座を受講することそのこと自体が日中友好運動を大きく前進させることなのです。

**仕事や旅行に中国語を**  
 今、街には中国人旅行者があふれています。たとえ片言でも話しかけることができれば、どれほど

な講義は定評があります。ヨドバシカメラ北隣り、グランフロント東隣り、地下鉄、JR、阪神、阪急などターミナルからすぐ近くです。ご本人が自ら受講できなくても子どもさんやお孫さん、知り合いの方に進めてください。ご紹介いただいた方には薄謝を差上げます。

**無料入門レッスンへどうぞ**  
 初心者対象の無料入門レッスンを、九月二十八日十時から六時半から、十月三十日十時から、中国語は平野区画整理記念会館で十時半と午後六時半に地域上映会が予定されています。(各回、定員十四名)

八月二十九日東大阪市ライティホールで「望郷の鐘」地域上映会が開かれました。雨の中、午前の上映会にはほぼ満席、午後の上映会も多くの方が会場を埋めました。夜の上映会も含めて七〇〇数十名が鑑賞し、戦争法案の動きとダブって大きな感動を受けたと感想が伝わっています。

**「望郷の鐘」東大阪上映会 七〇〇数十名が鑑賞!**

楽しいことでしょう！仕事や旅行のときにも中国語講座は営利を目的としたものではありません。受講料も一期六ヶ月四万八千円を、九月二十八日十時から六時半から、十月三十日十時から、中国語は平野区画整理記念会館で十時半と午後六時半に地域上映会が予定されています。五〇年教室で三回開きます。ぜひご参加ください。

### シヨウコウ3万人虐殺事件

#### 兵庫県連が二度の聞き取り調査

八月二三日、兵庫県連上田雅美事務局長を招き、研究会を開き、県連前田清会長、府連渡辺武会長はじめ十六名が出席し、熱心な質疑応答が交わされました。**上田さんの報告は、**



「兵庫県連では毎年『平和ツアー』を実施している。その目録は『①日中友好協会の活動を知らせる、②東北地震の際の、中国人研修生救済活動を紹介する、③現地で日本軍が何を行ったかを調査し、被害者からの聞き取りを行う』において、重慶から長江三峡下りをし、湖北宜昌市がある。長江はそこから一旦南下し、湖

廠寮(シヨウコウ)虐殺」とい聞きなれな事件につき、現地を訪問し、被害者三人の証言から次第に事件の概要が見えてきた。

「赤旗」編集部からの依頼もあり、同年十二月に共同再調査を(司令官横山勇中将、三師団、一旅団、五支隊からなり、第七旅団、戸田・小柴・針谷の三支隊が作戦の主力)によって開始、同年五月九日、中国軍民に対する虐殺が引き起こされた。武漢・漢口からの空爆、派遣軍による砲撃と内河船隻に対する焼き討ち、民家掃討作戦

南省洞庭湖の岳陽に達し、そこから北上して武漢に至る。南県「廠寮鎮」はその洞庭湖の北側にある水郷地帯の農村である。『江南殲滅作戦』(1943年四月)は、宜昌から調査を通じて日本の研究者の間でも知られていない『廠寮事件』の全容が明らかになり、お当時の報道記事などによる証書、質疑では日本の中国侵略、日中戦争の全体における

八月二十九日東大阪市ライティホールで「望郷の鐘」地域上映会が開かれました。雨の中、午前の上映会にはほぼ満席、午後の上映会も多くの方が会場を埋めました。夜の上映会も含めて七〇〇数十名が鑑賞し、戦争法案の動きとダブって大きな感動を受けたと感想が伝わっています。

湖

(Y)

# 府連大会続報③平和のつどいなど発言

七月五日の大阪府連大会での発言を紹介しします。(要約編集部)

## 姫野 浄さん

国民救援会事務局長を務めています。1963年以前の会員です。最近日中新聞をじっくり読むようになり、よい新聞であり

日本と中国の関係の状況がよくわかります。先日つどいに参加させていただき、大変心を動かされました。あの日本が侵略していた時に、勇敢にも日本兵に向かつて、戦争をやめなさいと放送していたとは、全然知りませんでした。

暁子さんのご挨拶立派で、すごく感心しました。あの言われていたことは、本当にそのとうりです。日中友好もとても大切なことです。大きく打っていきましょう。戦争はいつでもどこでも残酷です。日本が侵略し、その中で中国本土において反戦を訴えていた事実を知り、今大事なことだと思いました。

栗原小巻さんが登場し、少しびっくりしましたが、テルの信念を語り、その娘さん暁子さんも後押しされている、それは日本社会で望まれていることです。これからは支部をつくって、協会をもっと大きくしていきましょう。

## 坂手日登美さん(演出家)

劇団・息吹では七月一日の長谷川テル朗読劇の演出を行いました。暁子さんとは1989年以来

のお付き合いです。私は1991年に中国に行き四年大学で学び、その後二年勉強し演劇等も学び、都合十数年いました。生まれた国から、幼いころ日本に帰って来ています。

澤田和子さんお亡くなりになりましたが、苦勞してテルの本と一緒に執筆しました。最近になり暁子さんは、現在の日中関係を観て、もうよかったです。

五月に堺で平和と友好のつどいを行いました。そこに山本恒人副会長と長谷川暁子さん、そして

## 堺・浅田勝美さん

芝居に参加した若い未来ある一人芝居の神田さち子さんも参加たちに紹介できたように想います。これからは中国問題も積極的に関わってほしいですね。

日中友好協会に入って三年、勉強することが多いと思います。先日は日中不再戦友好、安倍首相に強言する、長谷川暁子・テルを扱ったつどいに参加いたしました。

五月に堺で平和と友好のつどいを行いました。そこに山本恒人副会長と長谷川暁子さん、そして

# ハルピン演奏旅行 現地ハルピン新聞が報道

七月十六日から七日間のシベリア・旧満州合唱交流旅行の模様を、土井一正理事から、伝えていただきました。

この合唱交流旅行は日中友好協会と日本ユーラシア協会、ロシア民謡合唱団コスモス、紫金草合唱団等が後援し約五〇人が参加しました。



「七月二一日、八六歳の帰国まで一〇年間中国解放の一人の日本人年寄りのために戦ったこと、を詳しくが合唱団を率いて、平く報じています。和・友好の文化交流の促進のためにハルピンにやってきました。その老人の名は藤後博巳。彼らは生粋の中国東北方言を操りながら『私の半分は中国人』と語って

戦後七〇年を迎え、日本人墓地のあるハバロフスク、ウラジオストークから、シベリア抑留や日中戦争で悲劇を生んだ綏芬(すいふん)河(が)を経てハルピンに至るルートを辿りました。鎮魂と平和と

**第38回 全大阪きりえ美術展**  
 10/14(水)～18(日)10時～17時  
 大阪市立住まいのミュージアム・ギャラリー

**第40回 日中友好きりえ展**  
 9/22(火)～27(日)